

## 編 集 後 記

このたび、関係者各位のご協力により、尚絅学院大学紀要第78号を発行できましたことを、心より感謝申し上げます。

震災からの復興がやっと目に見えてきたこの時、今度は台風19号で多数の死者、行方不明者が出てしまいました。災害が起こるたびに、これだけ技術が発達し、隅々にまで（時に不要な）土木工事が行われ、インフラが整った現在でさえ、犠牲者が出るのを防げないことに溜息が出る思いです。とくにこうした災害の被害者には高齢者の方が多く、また過疎地の住人が含まれていることに気がきます。少子化はますます地域共同体を希薄化させ、孤立した老人世帯ができていくのでしょうか。私の住んでいる地域にも、避難指示が出て、深夜に市の広報車が避難を呼びかけてきましたが、もし車も伝達手段もないとしたら、高齢の方たちはどうやって避難したらよいのでしょうか。普段からそうした世帯を把握し、避難用の臨時バスでも運航させない限り、今後も災害の犠牲者は出続けるはずです。消費税が10%に上げられましたが、本当に国民の命を守る福祉に回って欲しいものです。犠牲になられた方たちの魂が安からんことをお祈り申し上げます。

本第78号では、論文1編、研究ノート1編、書評1編を掲載いたしました。ご執筆頂きました先生方には、厚く御礼申し上げます。

紀要への投稿は、随時受け付けております。投稿を希望される方は、本学図書館より所定の資料をお受け取りいただき、「紀要執筆要項」ならびに「尚絅学院大学『紀要』投稿規程」に従い、完成原稿をご用意いただき、図書館カウンターまでご提出ください。投稿から掲載までかなりの時間を要する場合がありますが、2020年3月31日（火曜日）13時までにお預かりした原稿に関しては、79号（2020年7月発行予定）への掲載候補原稿として、直ちに査読作業に入ります。

次号では、特集も掲載いたします。委員会では時宜を得たテーマを、頭を絞って考えたいと思います。執筆をご依頼する先生方には、お時間を取らせてしまうことにはなりますが、どうぞご協力を頂きたく存じます。皆様には紀要という独立した研究媒体の意義をあらためてご理解いただき、紀要への投稿をいただけますようお願いいたします。

紀要編集委員長  
小原 俊文

### 尚絅学院大学『紀要』編集委員会

○小 原 俊 文      一 條 玲 香      菊 池 哲 彦      杉 山 芳 宏  
(○紀要編集委員長)